

# 各部会から出された主なご意見

# 【資料2】

部会名	意見項目			主なご意見
	経営課題	めざす成果及び戦略	具体的取組	
はぐくみ・教育部会	【経営課題1】 子どもたちの未来のために	【1-1】 安心して子育てができ、子どもたちが笑顔で育つまち	【1-1-1】 支援が必要な児童、生徒への取組	・日本語が分からない外国籍の児童生徒について、通常の授業もしっかりできるように対応してほしい。
			【1-1-2】 全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備	
		【1-2】 子どもたちがいきいきと学び、成長していくまち	【1-2-1】 児童、生徒の学力向上に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力アップ事業のチラシを個別に配付していただいているが、HPにも掲載してはどうか。また、広報紙に掲載して周知してはどうか。</li> <li>・基礎学力アップ事業について、なかなか受講できない児童生徒もいるので、オンラインや動画などの活用も含め、いろんな機会や環境を整えることで参加者の増につながると思う。</li> <li>・基礎学力アップ事業の周知に際し、楽しそうに受講している様子を動画や写真を載せたり、利用者の声を載せる工夫をしてはどうか。</li> <li>・<b>見せ方を工夫し、興味を持ってもらえるようなチラシを作成してはどうか。</b></li> <li>・大阪市習い事・塾代助成事業について、対象世帯での手続きを簡素化すれば利用が伸びるのではないかと。</li> </ul>
			【1-2-2】 チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり	
すこやか・まちづくり部会	【経営課題2】 すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために	【2-1】 支え合い安心して暮らせるまち	【2-1-1】 安心を提供する福祉施策の推進	
			【2-1-2】 地域福祉の充実	・地域ではいろいろな行事を行っているが参加しているメンバーは同じで、参加していない人と繋がるのが難しい。隣近所のつながりが大切になる。
		【2-2】 活力と魅力のあふれるまち	【2-2-1】 多様な主体と連携した地域活動協議会による自律的な地域運営の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の人にイベントへ参加してもらうため、同窓会ネットのようなものを作ってつながる機会をつくったり、「二十歳のつどい」などを利用して意見を聞いて、新たなイベント企画につなげ、運営にも参加してもらおうようなことを考えられないか。</li> <li>・子どもが少なくなって、活動や行事の実施が困難になっている地域もある。子育て世代に住んでもらうために、元オリンピック選手によるイベントや相撲部屋が区内へ来るなど魅力ある情報を積極的に発信していくことが必要。</li> <li>・大和川に生息しているうなぎを学校で飼育したい人や大和川の開放などをやりたい人の情報や、スポーツ教室が指導者不足で困っていると、ソフトボールの指導ができるなどの情報を発信することもよいのではないかと。</li> <li>・子どもからお年寄り、外国人など、町会のみならず毎日清掃をし、花を植えるなどすることにより、大阪市で一番きれいなまちをめざして取り組んでどうか。</li> <li>・協力的な人ばかりではないので、まず、住んでいる地域でやれることから始めることで、周りに広がっていくこともあると思う。そのリーダー的な人への支援は必要。</li> </ul>
			【2-2-2】 地域の魅力の共有と発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSなど、もう少し若い人向けにターゲットを絞って、興味がありそうなテーマを決めて情報を発信していく方がよいと思う。自分たちの区では色々な取組をやっているんだということを身近に感じてもらえるような情報を届けてほしい。</li> <li>・SNSやLINEの活用は寂しいと感じる人も多い、掲示板の活用も大切である。</li> </ul>
全体にかかる意見				<ul style="list-style-type: none"> <li>・区のビジョンが抽象的なので、具体的な目標を作ることが必要だと思う。他の区にない住之江区のいいところをアピールしないと若い人は来ないと思うので、なにか1つテーマを決めて取り組んでいくとよいのではないかと。</li> </ul>

## 各部会から出された主なご意見

部会名	意見項目			主なご意見
	経営課題	めざす成果及び戦略	具体的取組	
防災・安全部会	【経営課題3】安全・安心に暮らすために	【3-1】災害に強いまち	【3-1-1】自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害が起きた時の状況が想像できなかつたり、津波が来ても何とかなると思っ ている方もいるのではないか。発災時の状況を映像で見てもらえれば、防災意識の 向上につながると思う。</li> <li>・<u>地域防災訓練にPTAや子ども会の方、一般住民の方などにたくさん参加してもら えるよう、SNSでの啓発や直接電話で呼びかけるなど周知してはどうか。</u></li> <li>・地域防災リーダーによる放水訓練を子ども達に見てもらい、実際に触れてもらえ れば防災の関心が高まると思う。</li> <li>・「避難カード」について、小中学校を通じて配布し保護者にも見ってもらうことで子ど もにも保護者にも関心を持ってもらえるのではないか。</li> <li>・「避難カード」は配布するだけではなく、実際に記入してもらうことで防災意識の向 上に繋がると思う。</li> <li>・防災意識の向上に向けては地道に啓発活動に取り組むことが重要である。防災 士による休日の出前講座の開催など、啓発の機会を増やしてはどうか。</li> <li>・いざという時に行動できるようになるために、何度も訓練を重ね、身体で覚えるこ とが非常に重要であると思う。</li> </ul>
			【3-1-2】減災のための環境整備	
		【3-2】防犯意識の高いまち	【3-2-1】防犯意識の向上に向けた啓発	
			【3-2-2】街頭犯罪抑止のための環境整備	